

統計審議会会長 溝口 敏行 殿

総務庁長官 続 訓弘

諮問第266号

平成13年に実施される国民生活基礎調査の計画について

標記について、貴会の御審議を得たい。

理 由

厚生省は、平成13年に実施を予定している国民生活基礎調査（指定統計第116号を作成するための調査）について、平成12年4月からの介護保険制度の導入に伴い、世帯における介護サービスの利用の実態等をよりの確にとらえるため、別途統計報告の徴集として実施していた「介護サービス世帯調査」の調査事項と平成10年まで本調査の世帯票で把握していた介護に関する調査事項を統合し、新たに「介護票」（仮称）による調査を実施することを計画している。

また、少子高齢化の進展に伴う新たな統計ニーズに的確に対応するため、調査事項の変更等を行うこととしている。

本調査は、保健、医療、福祉、年金、所得等国民生活の基礎的事項を明らかにするものとして、統計体系上重要な位置を占めるものであり、今回の調査計画については、新たな統計ニーズに対応するための介護に関する調査事項の変更等の重要性にかんがみ、諮問第242号の答申「統計行政の新中・長期構想」を踏まえ、慎重に検討する必要がある。